

**第3回**  
**公共施設のあり方検討委員会**  
**—明日のいなざわが輝くために—**



平成24年4月27日  
稲 沢 市



0

**本日の議題**



1

# 本日の議題

---

- ① 改革の方向性
- ② 改革の目玉 PART II
- ③ 支所・市民センター・老人福祉センターの改革案
- ④ 保育園・小中学校に関する課題分析
- ⑤ 公共施設の現状と課題（追加分）



2

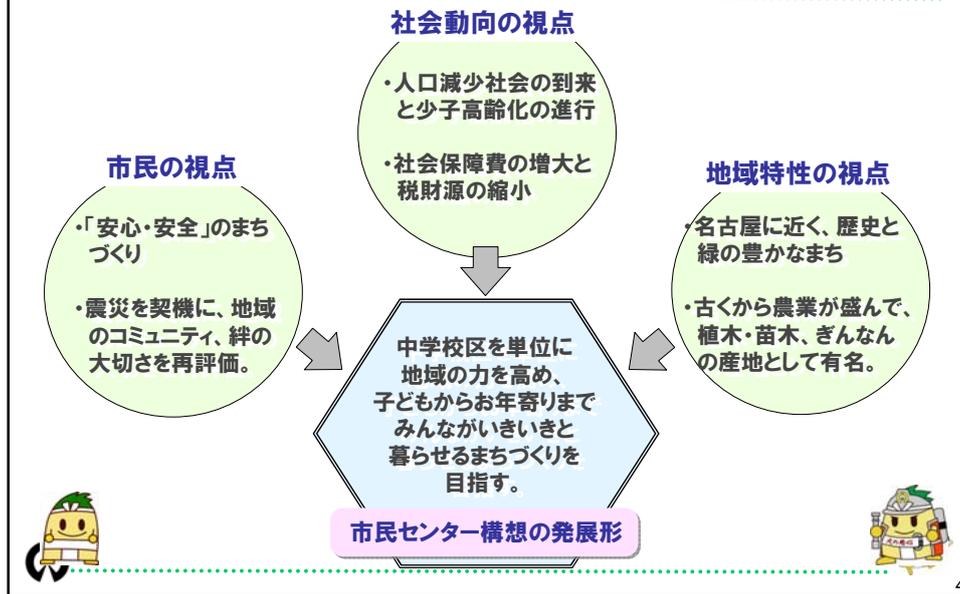
---

# 改革の方向性



3

# 改革のコンセプト



4

# まちづくりの理念

## 第5次稲沢市総合計画

自然の恵みと心の豊かさ 人が輝く 文化創造都市

### 4つの施策大綱

- ① 安心して元気に暮らせるまち (福祉・健康)
- ② 環境にやさしく安全なまち (生活・環境)
- ③ 活力ある未来をひらくまち (都市基盤・産業)
- ④ 郷土を愛し豊かな心を育むまち (教育・文化)



5

# 見直しの視点

見直し案の検討にあたっては、  
以下の**3つの視点**からアプローチする。

- ① 将来の人口減少を見据えて考える
- ② 税財源が縮小していくことを前提に、施設の総量を減らしていく方向で検討する
- ③ 市民の生活に必要な不可欠なサービスに対しては、全体の水準を維持するように配慮する



6

# 改革の目玉



7

## 改革の目玉

- ① 小中一貫教育の導入
-  ② 福祉とボランティアの拠点を整備
-  ③ 特別保育の拡充
-  ④ 元気な高齢者を応援  
～市民ふれあい農園、回想法～
-  ⑤ オリンピック選手との交流
- ⑥ 市民窓口の休日開庁



8

## 福祉とボランティアの拠点を整備

- ・障害者、児童、高齢者に対する福祉サービスの拠点となる施設を「福祉の拠点(仮称)」新たに整備し、相談体制と受け入れ施設が一体となったワンストップサービスを実現する。
- ・当該施設には、  
身体障害者福祉センター、子育て支援センター、  
少年愛護センター、まつのき作業所、ひまわり園、  
社会福祉協議会、身体障害者福祉団体連合会を  
移転させるとともに、  
市民活動支援センターも併せて移転し、  
ボランティアが集う拠点としての機能も  
集約していく。



9

## 特別保育の拡充

保育園再編の代替策として、  
今後も存続する公立保育園すべてに  
乳児、障害児、延長保育を拡充していく方向で検討する。

### 【現行】

乳児保育 19園中14園で実施

障害児保育 19園中10園で実施

延長保育 19園中14園で実施



10

## 市民ふれあい農園

「市民ふれあい農園(仮称)」という形で、  
市が希望者に農地をあっせんして農業体験の機会を  
提供することにより、  
高齢者の方の生きがいづくり、健康づくりにつなげていく。

公共施設の近接地にこうした農園を確保することによって、  
施設の利用者にも農業体験の機会を提供する。



11

## オリンピック選手との交流

- ・再編後の公共施設の跡地に、人工芝のサッカー場兼ホッケー場とフットサル場を整備し、市民に開放するとともに、ソニーHCの練習拠点としても活用する。
- ・ホッケー体験教室の開催などを通して、オリンピック選手と市民との交流を図り、競技の普及とスポーツの振興に寄与していく。

### ソニーHC BRAVIA Ladies

#### ・歴史と戦績

- 昭和55年 創部
- 平成16年 アテネオリンピック出場  
(7名のメンバーを輩出)
- 20年 北京オリンピック出場  
(4名のメンバーを輩出)
- 21年 本拠地を一宮市から稲沢市に移転
- 22年 史上初の4年連続3冠を達成



12

## 各施設の 検討



13

# 支所



14

## 支所の現状と課題（1）

### 現状

- ・祖父江支所 昭和46年建設 2階建 耐震未改修
- ・平和支所 昭和52年建設 3階建 耐震未改修

- ・平成17年の支所発足以後、段階的に体制を縮小しつつ、順次仕事を本庁に移管している。

	17年度		24年度
祖父江支所	正規49名 臨時4名	⇒	正規12名 再任2名 臨時5名
平和支所	正規40名 臨時7名	⇒	正規11名 再任1名 臨時7名

### ・主な業務

- ① まちづくり活動の支援
- ② 戸籍、住民票の発行などの窓口サービス
- ③ 市税、医療、福祉関係などの各種相談、届出
- ④ 地区内の道路、水路、公園などの維持管理
- ⑤ 土地改良区の運営指導



15

## 支所の現状と課題（2）

### 課題

- ・耐震診断値は、いずれも市の基準未滿。概算の改修工事費はそれぞれ1億円。
- ・窓口での取り扱い件数  
祖父江支所 年間24,100件 1世帯当たり3.3件  
平和支所 年間15,000件 1世帯当たり3.4件  
⇒ 年間数件しかない事務がいくつかあり、窓口対応で手間取ることがある。
- ・現金収納を行っているため、安全管理の面で心配な部分がある。  
（祖父江支所 年間11,600件 ・ 平和支所 年間4,800件）
- ・祖父江支所、平和支所ともにエレベーターがなく、  
バリアフリー化されていない。
- ・年間借地料  
2支所合計 3,171千円



16

## 祖父江支所を市民センターに

- ・祖父江支所については、  
①業務量の縮小、②施設の老朽化、③空調など設備の効率が悪い、  
④市の耐震基準を満たしていない、⑤バリアフリー化されていないこと  
などを総合的に勘案し、祖父江地区内の別の施設への**移転**を検討する。
- ・移転先の候補として、平成12年建設の**保健センター祖父江支所**を  
提案したい。
- ・移転に併せて、祖父江支所を**祖父江市民センター**とし、住民サービスの  
提供メニューを他の市民センターに合わせていく。



- ・人件費、庁舎管理費などの削減により、  
年間**9,500万円**の行革効果を  
生み出すことが可能になる。



17

## 平和支所を市民センターに

- 平和支所については、
    - ①業務量の縮小、②施設の老朽化、③空調など設備の効率が悪い、
    - ④市の耐震基準を満たしていない、⑤バリアフリー化されていないことなどを総合的に勘案し、平和地区内の別の施設への**移転**を検討する。
  - 移転先の候補として、平成14年建設の**平和らくらくプラザ**を提案したい。
  - 移転に併せて、平和支所を**平和市民センター**とし、住民サービスの提供メニューを他の市民センターに合わせていく。
  - 平和支所内にある土地改良部門の事務室とポンプ場及び排水機場の遠方監視システムを、平和町農村環境改善センター内に移設する。
- ↓
- 人件費、庁舎管理費などの削減により、年間**7,800万円**の行革効果を生み出すことが可能になる。



18

市民センター



19

## 市民センターの現状と課題（1）

### 現状

- ・旧稲沢市内に7か所設置。いずれも直営施設。  
明治、千代田、大里西、大里東、下津、小正、稲沢
- ・7施設のうち3施設が耐震診断未実施。残り4施設は耐震性有り。
- ・主な業務
  - ① まちづくり活動の支援
  - ② 戸籍、住民票の発行などの窓口サービス
  - ③ 公民館、老人福祉センターの運営管理(併設の場合)
- ・職員数（7施設・公民館・老福業務を含む）  
正規21名 臨時11名 計32名



20

## 市民センターの現状と課題（2）

### 課題

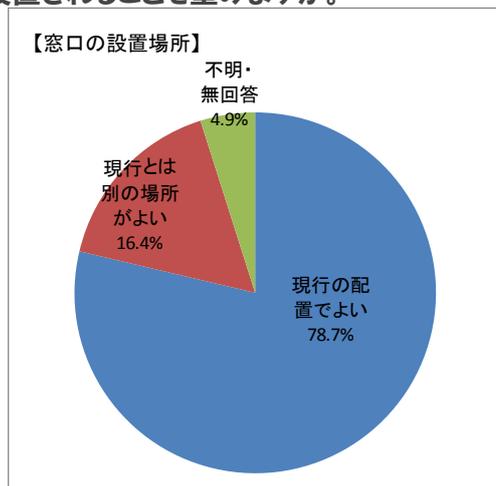
- ・センターによって、窓口サービスの取扱件数にばらつきがある。  
(年間6,800件~26,300件 1世帯当たり0.8件~3.7件)
- ・本庁にファクシミリ送信して承認を受けるなど、手間のかかる事務も多い。
- ・現金収納を行っているため、安全管理の面で心配な部分がある。  
(年間900件~6,800件)
- ・7か所のセンターを抱えていることが、  
県内の類似団体と比べて総務部門の職員が多い一因となっている。



21

## 市民アンケートの結果

Q 市役所以外のサービス窓口は、どのような場所に設置されることを望みますか。



22

## 市民センターの改革

・アンケート結果を踏まえ、7か所の市民センターは現行のまま**存置**する。  
ただし、現状の業務量を勘案し、各市民センターの正規職員1人を再任用職員に振り替える。



・人件費の削減により、年間**2,900万円**の行革効果を生み出すことが可能となる。



23

# 老人福祉センター



24

## 老人福祉センターの現状と課題

### 現状と課題

- 市内に8か所設置。直営3施設、指定管理5施設。  
8施設のうち1施設が耐震診断未実施で、2施設が耐震改修未実施。  
残り5施設は耐震性有り。
- 市内在住の60歳以上の方は登録すると無料で利用できる。利用  
目的は、会合、お風呂、グラウンドゴルフ、囲碁・将棋、カラオケ、  
マッサージ、陶芸、盆栽、華道、ダンス、健康体操など。
- お風呂の利用は、1日平均1人から47人。
- お風呂に入浴中の事故が相次いでいる。  
死亡事故は21年度2件、22年度1件。  
それ以外にも、年に数回は救急搬送され  
るケースがある。



25

## 入浴サービスの停止

老人福祉センターにおいて入浴中の事故が相次いでおり、  
利用率及び安全性の観点から、入浴サービスの**停止**を検討する。



26

## 保育園・小中学校 に関する 課題分析

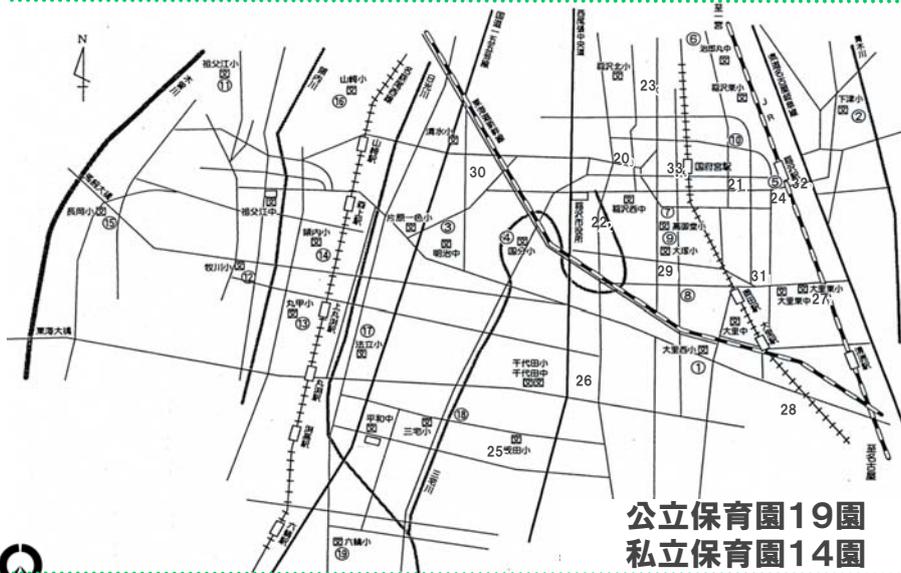


27

# 保育園に関する 課題分析



## 市内の保育園



## 保育園別園児数（公立）

24年4月現在

保育園名 (公立)	施設定員 A	現定員 B	園児数 C	入所率 (%)	
				C/A	C/B
① 大里西	100	60	67	67.0	111.7
② 下津	150	150	182	121.3	121.3
③ 片原一色	100	90	29	29.0	32.2
④ 国分	110	120	38	34.5	31.7
⑤ 駅前	135	120	108	80.0	90.0
⑥ 子生和	105	60	38	36.2	63.3
⑦ 高御堂中央	195	90	53	27.2	58.9
⑧ 奥田	135	120	68	50.4	56.7
⑨ 大塚	180	140	85	47.2	60.7
⑩ 長野	130	130	97	74.6	74.6



30

## 保育園別園児数（公立）

24年4月現在

保育園名 (公立)	施設定員 A	現定員 B	園児数 C	入所率 (%)	
				C/A	C/B
⑪ 祖父江	130	100	83	63.8	83.0
⑫ 牧川	140	140	125	89.3	89.3
⑬ 丸甲	140	80	47	33.6	58.8
⑭ 領内	245	200	140	57.1	70.0
⑮ 長岡	115	70	44	38.3	62.9
⑯ 山崎	90	70	50	55.6	71.4
⑰ 法立	110	110	58	52.7	52.7
⑱ 三宅	115	70	54	47.0	77.1
⑲ 六輪	180	160	105	58.3	65.6
合 計	2,605	2,080	1,471	56.5	70.7



31

## 保育園別園児数（私立）

24年4月現在

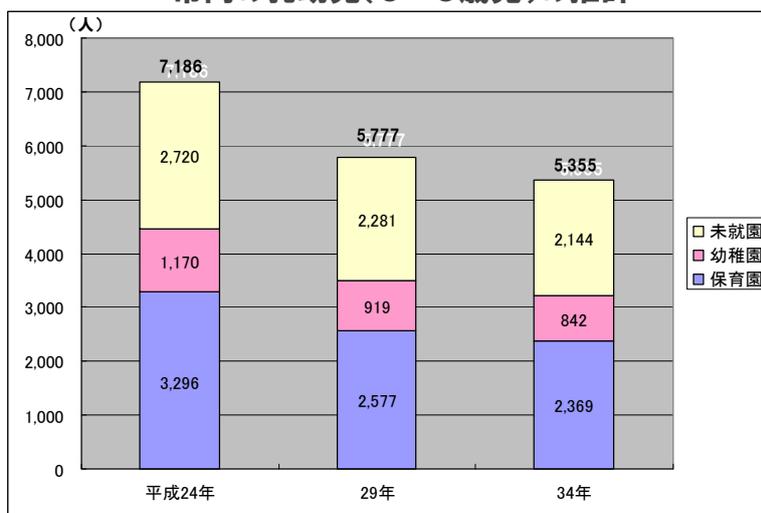
保育園名(私立)	定員	園児数	入所率(%)
20 栴檀	240	201	83.8
21 小正	200	205	102.5
22 小鳩	200	164	82.0
23 稲沢	210	198	94.3
24 和光	200	196	98.0
25 千代田	130	144	110.8
26 附島	90	96	106.7
27 大里東みどり	140	150	107.1
28 みのり	110	85	77.3
29 信電	100	88	88.0
30 明治	150	177	118.0
31 みずほ	90	59	65.6
32 めばえ	30	31	103.3
33 信電国府宮	30	31	103.3
合計	1,920	1,825	95.1



32

## 園児数の減少（1）

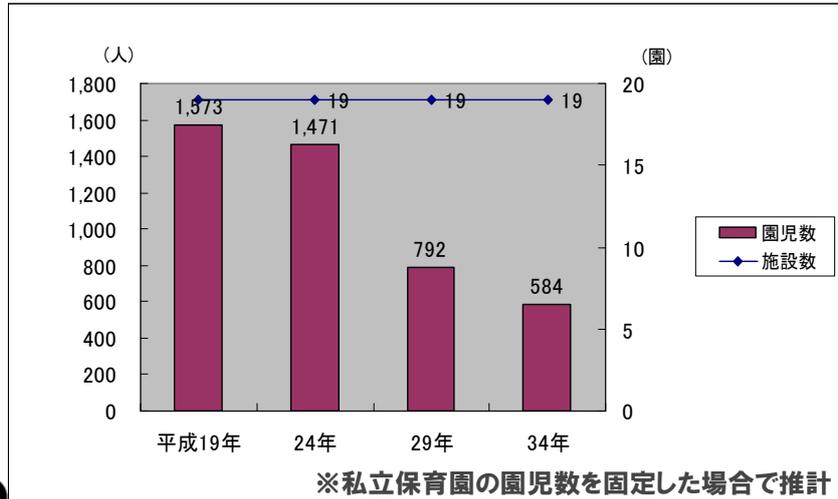
市内の乳幼児(0～5歳児)の推計



33

## 園児数の減少（2）

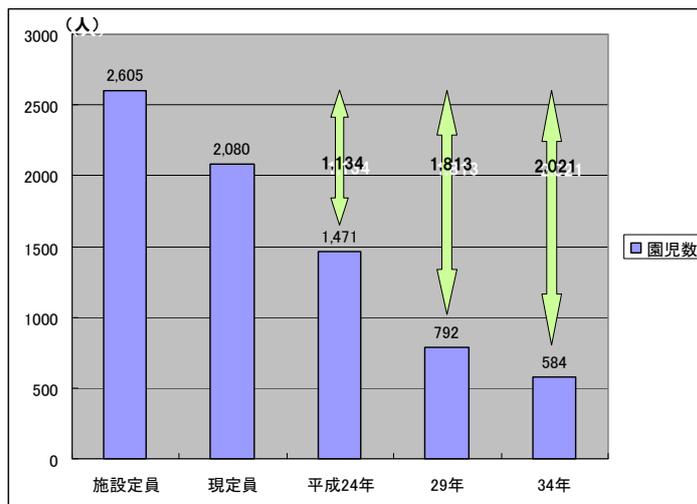
公立保育園の園児数と施設数の推計



34

## 園児数の減少（3）

公立保育園の園児数の推計と定員との比較



35

## 公立保育園の現状と課題（1）

### 現状と課題

- ・市内に19園設置。いずれも直営施設。
- ・耐震改修促進法で努力義務が課せられている2階建て以上の保育園  
⇒ 9園中1園が耐震未改修
- ・平屋建ての保育園  
⇒ 10園中9園が耐震診断未実施
- ・年間借地料  
国分保育園始め5園  
8,217千円



36

## 公立保育園の現状と課題（2）

### 現状と課題

- ・定員割れの保育園 17園
- ・入所率が70%未満の保育園 10園



- ・給食は、旧稲沢市が自園調理方式、祖父江地区及び平和地区がセンター調理方式を採用。調理方式を含め、今後のあり方を市内部で検討中。



37

# 公立保育園に要する経費

## 建て替え費用

1園当たり 4億円 × 9園 = 36億円  
 (耐震診断未実施の平屋建ての施設を対象)

## 年間維持管理費用(市負担分)

5,800万円 × 19園 = 11億200万円

借地料 5園 800万円

計 11億1,000万円  
 (園児1人当たり 754,000円)



38

# 投資の抑制と行政改革

## 建て替え費用



4億円



4億円



4億円



4億円

8億円の投資抑制

## 年間維持管理費用



6千万円



6千万円



6千万円



8千万円

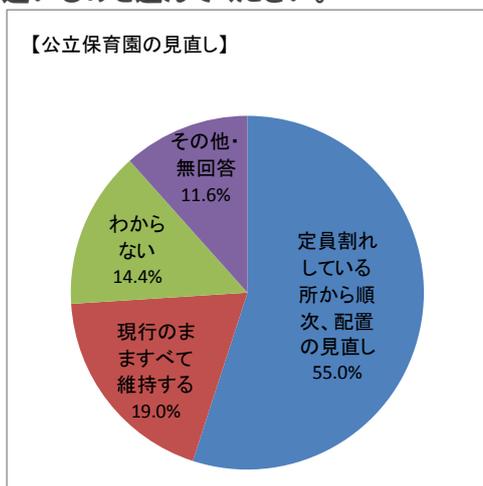
1億円の行革効果



39

# 市民アンケートの結果 (1)

Q 公立保育園の今後のあり方について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。



40

# 市民アンケートの結果 (2)

園児の有無

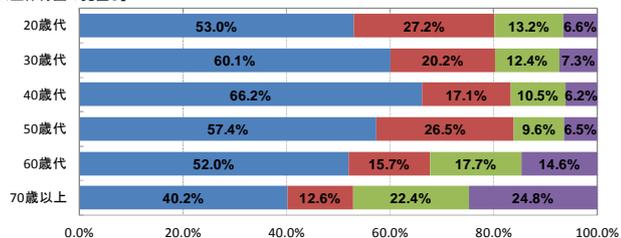
【公立保育園の見直し】



■ 園児数が定員割れしている保育園から順次、配置の見直しを検討していくことが望ましい  
 ■ 園児数が減少しても、現行の保育園をすべて維持することが望ましい  
 ■ わからない  
 ■ その他・無回答

年代別

【公立保育園の見直し】



■ 園児数が定員割れしている保育園から順次、配置の見直しを検討していくことが望ましい  
 ■ 園児数が減少しても、現行の保育園をすべて維持することが望ましい  
 ■ わからない  
 ■ その他・無回答



41

## これまでの取り組み（旧稲沢市）

平成6年9月 稲沢市保育園配置等審議会答申

- ・効果的な保育園運営を図るには園児数**90名**以上が望ましいが、  
地域的条件等を考慮すると、**60名**程度までは容認される範囲である。
- ・改築及び新築時は、市有地または無償貸与とするべきである。



平成 9年3月 高御堂保育園と赤池保育園を廃止

11年4月 私立みどり保育園を大里東保育園に統合した上で、  
「私立大里東みどり保育園」を設立

18年3月 清水保育園を休園

21年3月 同園を廃止



42

## これまでの取り組み（旧平和町）

平成13年3月 平和保育園と黒田保育園を廃止



旧平和保育園の園舎は、「下起ふれあい会館」として地元が活用し、

旧黒田保育園の園舎は「六輪児童クラブ室」として市が活用している。



43

# 小中学校 に関する 課題分析

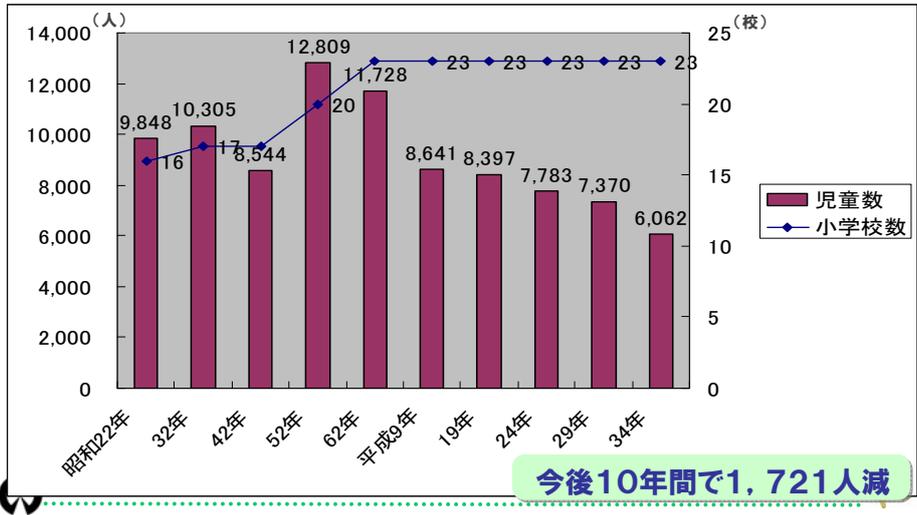


## 市内の小中学校



# 児童生徒数の減少（1）

## 小学校の児童数と学校数の推移



46

# 児童生徒数の減少（2）

## 中学校の生徒数と学校数の推移



47

## 学級数の減少

### 標準の学級数

小学校における標準の学級数は**12学級以上18学級以下**とされ、  
中学校もこれを準用している。(学校教育法施行規則)

### 小中学校の学級数(小学校23校・中学校9校)

	24年度	29年度	34年度
<b>小学校</b>			
標準超過	3校	3校	1校
標準未満	11校	12校	12校
<b>中学校</b>			
標準超過	0校	1校	1校
標準未満	3校	6校	5校



48

## 小学校の現状と課題

### 現状と課題

- ・市内に23校設置。耐震化工事は23校中22校が完了。  
未改修は稲沢西小学校のみ。
- ・給食は、旧稲沢市が自校調理方式、祖父江地区及び平和地区が  
センター調理方式を採用。調理方式を含め、今後のあり方を  
市内部で検討中。
- ・保護者の要望の多いトイレの改修に、23年度から順次着手している。
- ・年間借地料  
稲沢西小学校始め15校  
106,632千円



49

## 中学校の現状と課題

### 現状と課題

・市内に9校設置。全学校が耐震化工事を実施済み。

・年間借地料  
稲沢中学校始め5校  
69,428千円



50

## 小中学校に要する経費

### 建て替え費用

1校当たり 18億円 × 30校 = 540億円  
(稲沢東小、平和中を除く)

### 年間維持管理費用(市負担)

小学校 2,700万円 × 23校 = 6億2,100万円

中学校 3,700万円 × 9校 = 3億3,300万円

借地料 20校 1億8,300万円

計 11億3,700万円  
(児童生徒1人当たり 96,000円)



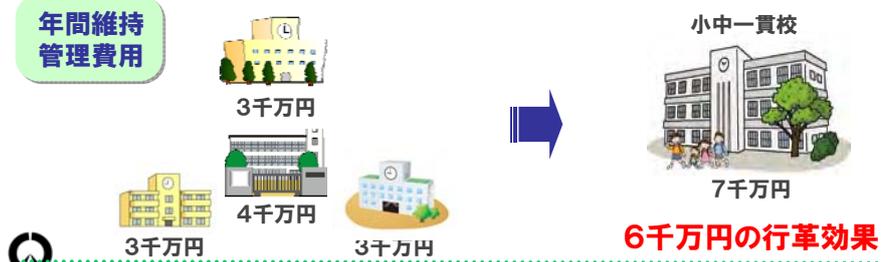
51

# 投資の抑制と行政改革

建て替え費用



年間維持管理費用

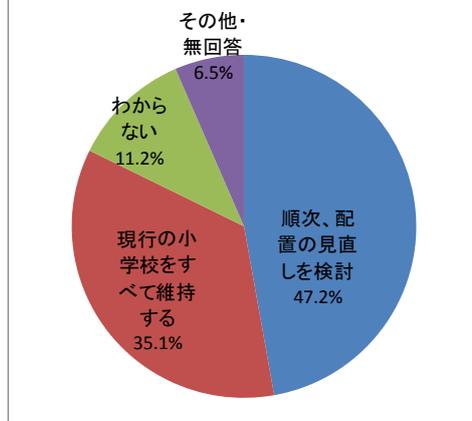


52

# 市民アンケートの結果 (1)

Q 小学校の今後のあり方について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

【小学校の見直し】

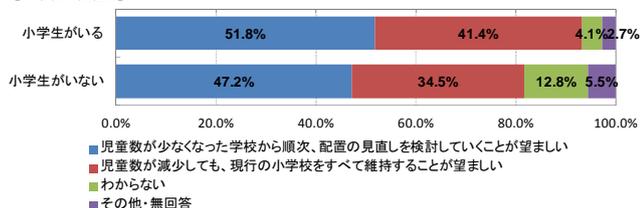


53

## 市民アンケートの結果 (2)

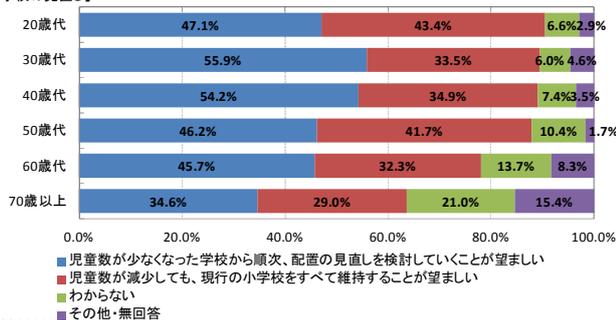
小学生の有無

【小学校の見直し】



年代別

【小学校の見直し】



54

## 学校別の見直し



55

## 稲沢中学校区 (1)

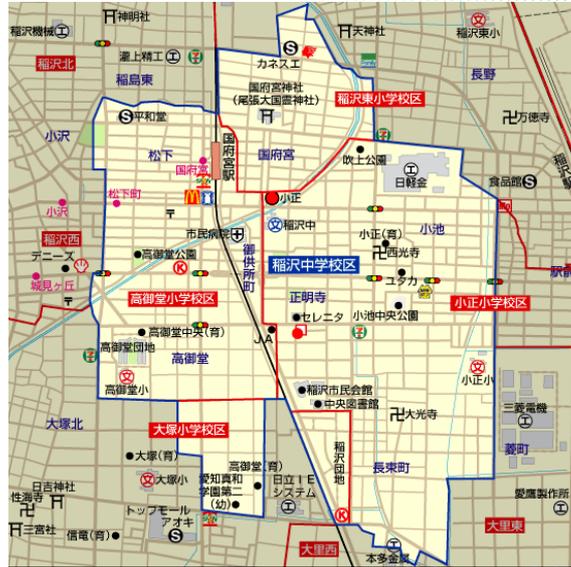
稲沢中学校

稲沢東小学校  
(一部)

大塚小学校  
(一部)

高御堂小学校

小正小学校  
(一部)



56

## 稲沢中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
稲沢中学校	423人	345人 (△78人)	419人 (74人)	△4人
稲沢東小学校の一部 (全体)	236人 (847人)	239人 (3人) (856人・9人)	178人 (△61人) (638人・△218人)	△58人 (△209人)
大塚小学校の一部 (全体)	9人 (499人)	18人 (9人) (436人・△63人)	13人 (△5人) (324人・△112人)	4人 (△175人)
高御堂小学校	191人	242人 (51人)	256人 (14人)	65人
小正小学校の一部 (全体)	313人 (481人)	320人 (7人) (493人・12人)	289人 (△31人) (444人・△49人)	△24人 (△37人)



57

# 明治中学校区 (1)

- 明治中学校
- 清水小学校
- 片原一色小学校
- 国分小学校  
(一部)



# 明治中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
明治中学校	389人	349人 (△40人)	297人 (△52人)	△92人
清水小学校	270人	219人 (△51人)	206人 (△13人)	△64人
片原一色小学校	158人	146人 (△12人)	127人 (△19人)	△31人
国分小学校の一部 (全体)	240人 (406人)	176人 (△64人) (297人・△109人)	154人 (△22人) (260人・△37人)	△86人 (△146人)



# 千代田中学校区 (1)

千代田中学校  
千代田小学校  
坂田小学校



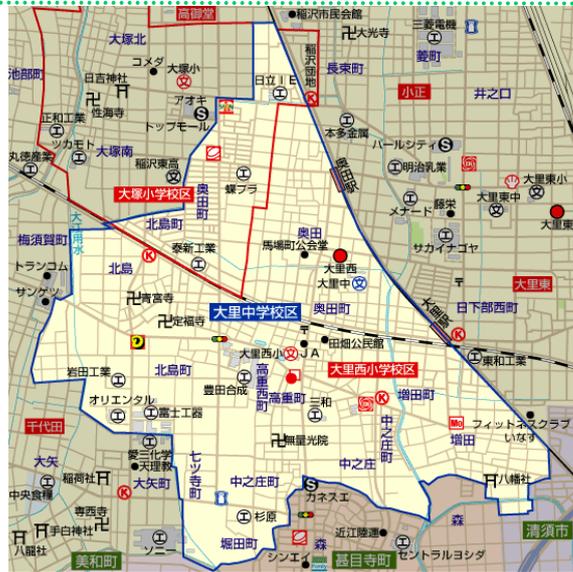
# 千代田中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
千代田中学校	220人	228人 (8人)	223人 (△5人)	3人
千代田小学校	356人	324人 (△32人)	233人 (△91人)	△123人
坂田小学校	103人	96人 (△7人)	87人 (△9人)	△16人



# 大里中学校区 (1)

- 大里中学校
- 大里西小学校
- 大塚小学校  
(一部)



# 大里中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
大里中学校	369人	336人 (△33人)	294人 (△42人)	△75人
大里西小学校	413人	358人 (△55人)	344人 (△14人)	△69人
大塚小学校の一部 (全体)	262人 (499人)	242人 (△20人) (436人・△63人)	180人 (△62人) (324人・△112人)	△82人 (△175人)



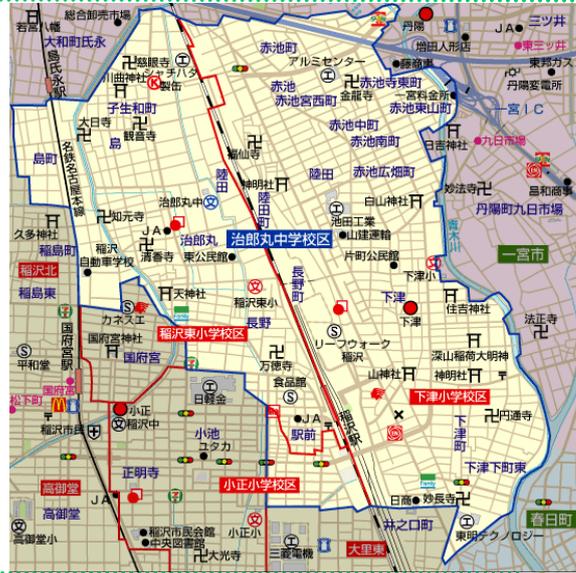
## 治郎丸中学校区 (1)

治郎丸中学校

稲沢東小学校  
(一部)

下津小学校

小正小学校  
(一部)



64

## 治郎丸中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
治郎丸中学校	667人	731人 (64人)	817人 (86人)	150人
稲沢東小学校の一部 (全体)	611人 (847人)	617人 (6人) (856人・9人)	460人 (△157人) (638人・△218人)	△151人 (△209人)
下津小学校	598人	832人 (234人)	508人 (△324人)	△90人
小正小学校の一部 (全体)	168人 (481人)	173人 (5人) (493人・12人)	155人 (△13人) (444人・△49人)	△13人 (△37人)



65

## 稲沢西中学校区 (1)

- 稲沢西中学校
- 稲沢西小学校
- 国分小学校  
(一部)
- 大塚小学校  
(一部)
- 稲沢北小学校



66

## 稲沢西中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	29→34
稲沢西中学校	630人	635人(5人)	570人(△65人)	△60人
稲沢西小学校	543人	518人(△25人)	466人(△52人)	△77人
国分小学校の一部 (全体)	166人 (406人)	121人(△45人) (297人・△109人)	106人(△15人) (260人・△37人)	△60人 (△146人)
大塚小学校の一部 (全体)	228人 (499人)	176人(△52人) (436人・△63人)	131人(△45人) (324人・△112人)	△97人 (△175人)
稲沢北小学校	309人	334人(25人)	230人(△104人)	△79人

67

# 大里東中学校区 (1)

大里東中学校  
大里東小学校



# 大里東中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
大里東中学校	378人	357人(Δ21人)	306人(Δ51人)	Δ72人
大里東小学校	724人	608人(Δ116人)	458人(Δ150人)	Δ266人



## 祖父江中学校区 (1)

- 祖父江中学校
- 祖父江小学校
- 山崎小学校
- 領内小学校
- 丸甲小学校
- 牧川小学校
- 長岡小学校



## 祖父江中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
祖父江中学校	620人	583人 (△37人)	511人 (△72人)	△109人
祖父江小学校	206人	152人 (△54人)	176人 (24人)	△30人
山崎小学校	123人	127人 (4人)	105人 (△22人)	△18人
領内小学校	357人	296人 (△61人)	288人 (△8人)	△69人
丸甲小学校	130人	143人 (13人)	119人 (△24人)	△11人
牧川小学校	168人	151人 (△17人)	138人 (△13人)	△30人
長岡小学校	148人	126人 (△22人)	128人 (2人)	△20人

# 平和中学校区 (1)

平和中学校

法立小学校

六輪小学校

三宅小学校



72

# 平和中学校区 (2)

	24年度	29年度	34年度	24→34
平和中学校	418人	357人 (△61人)	296人 (△61人)	△122人
法立小学校	234人	171人 (△63人)	168人 (△3人)	△66人
六輪小学校	376人	322人 (△54人)	254人 (△68人)	△122人
三宅小学校	143人	123人 (△20人)	105人 (△18人)	△38人



73

---

# 公共施設の 現状と課題 (追加分)



74

---

# 社会福祉施設



75

## まつのき作業所

### 現状と課題

- ・知的または身体障害者を対象にした通所型の授産施設。昭和57年建設。平屋建てのため耐震診断は未実施。  
正規職員1名、臨時職員4名。
- ・作業時間は平日9時から15時まで。知的または身体障害者21名が登録し、贈答用の箱や縄跳びなどの製作を行っている。  
年間の報酬は1人当たり約7万円。



76

## ひまわり園

### 現状と課題

- ・発達に障害の疑いのある就園前の児童を対象に、発達支援を行う施設。  
昭和52年建設。平屋建てのため耐震診断は未実施。  
正規職員3名、臨時職員3名。
- ・1日の定員は20人。保健センターやこども発達支援室などから紹介されて来園するケースが多い。年度当初は20名程度の登録者で始まり、年度末まで徐々に増える経過をたどっている。
- ・指導員が手遊びなどを通して、「見る」、「話を聞く」、「指示を聞く」、「指示に従う」など、児童個人の発達段階に応じた計画を立てて支援している。
- ・駐車場が8台分しかないで、足りないときは隣の公共施設の駐車場を利用している。

年間借地料 32千円



77

第3回  
公共施設のあり方検討委員会  
—明日のいなざわが輝くために—



平成24年4月27日  
稲 沢 市



78